

京丹後市の100歳以上の高齢者は122人です (※全国平均の約3.3倍)

※市内最高齢107歳のご長寿を祝い、日下部 脩さんを始め4人の方へ記念品を贈呈します

令和3年9月17日
京丹後市役所

日本は世界の中で長寿国として知られていますが、日本国内でも特に長寿として知られている地域が、京丹後市です。市内には、満100歳以上の方が122人(9月1日現在)おられ、年度末には160人となる見込みです。本市の人口に占める100歳以上の割合は際立って高く、人口10万人当たりの100歳以上の数は230.09人であり、全国平均の約3.3倍、京都府平均の約2.9倍となっております。

市では、今年度も敬老の日に合わせ、本市最長寿で107歳の日下部脩さんを始め、同じく107歳の藤井久子さん、山野のぶさん、多賀野とめさんの4人の方に、最高齢の記念品を贈呈します。

また、今年度中に新100歳になられる53人の方に長寿のお祝い(100歳長寿の記念品の贈呈)を行っています。

※最高齢の方を代表して日下部 脩さんに、市長に代わり「京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ」の副施設長から記念品を贈呈していただきます。

※藤井さん、山野さん、多賀野さんへは担当課職員がお届けします。

1. 贈呈日 令和3年9月20日(月)
2. 対象者 くさかべ おさむ
日下部 脩 さん(107歳) 大正3年2月10日生まれ(男性)
3. 贈呈場所 京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ
京丹後市弥栄町溝谷5422番地
※自宅は峰山町久次ですが、現在はふくじゅに入所中

新型コロナウイルス感染防止のため当日の取材はご遠慮ください。
贈呈の様子は、施設にて撮影いただいた画像を、別途提供させていただきます。

4. お祝いの品 コウノトリと徐福の麦わら細工色紙、お祝い状

5. 日下部さんの近況等（家族及び施設のコメント）

- 今年1月から、ふくじゅに入所されている。
- いつもおだやかで笑顔が多く、時々冗談を言うなど、ユーモアのある性格。
- 要介護度4だが、食事、髭そりは自分ででき、他の利用者さんと同じペースで生活されている。
- 食事は柔らか目の形態を好き嫌いなく何でも食べられる。好きな食べ物は、温かいうどんや焼きそば。
- 膝を悪くしてからは、車イスで生活をしており、概ね自分で操作できる。
- 耳が遠いため補聴器をつけておられ、大きな声で話せば楽しく会話される。
- 手先が器用で、数年前までは木工工作で輪投げ、パズルなどを製作されていた。

6. 家族構成 子供2人、孫3人

7. 問い合わせ先

京丹後市 健康長寿福祉部 長寿福祉課 電話 0772-69-0330（本田・小石原）

参考1 事前にお聞きした日下部さんのコメント

- 次は108歳を迎えられるようにがんばりたい。
- まわりに迷惑をかけないように、楽しく生活したい。

参考2 お祝いの品の画像（コウノトリと徐福の麦わら細工色紙）

